



Junior High School KAMON NEWS

鴨志田中学校通信

第6回 学校運営協議会

令和3年度 第6回 学校運営協議会が行われました

令和3年度最後の会議が3月15日（火）に行われました。今回の会議では、本校における教育活動全般に関する振り返りの話し合いを行いました。そして、保護者・生徒・地域等からいただいたアンケートの声や学校運営協議会の皆様からいただいたご意見を基に学校経営計画の見直しを行い、新年度をスタートさせます。

目次:

学校行事について 1

- ・4・5月行事予定と年間行事予定
- ・いじめ防止・市民フォーラム報告
- ・2年オンライン職場体験報告
- ・3年卒業期～卒業式
- ・通級指導教室より

教育活動の成果と課題、 次年度へ向けて 2



はじめに

はじめに戸塚会長より、「夕方でもこんなにちはと言える季節になりました。最近では気候変化により春や秋が短くなっているように感じますが、人事異動の話が来ると、新たな年度の始まりと春を感じます。」「来年度も鴨志田郵便局長として地域から学校を支えていきたいです。」と力強いお言葉をいただきました。

次に校長から、第37回 卒業式の報告をしました。「97名の生徒に卒業証書を渡すことができました。校長として、感慨一入であります。」「今までの地域・保護者の皆様の御支援に感謝いたします。4月7日の入学式も卒業式と同様、保護者1名参加・来賓の方々には御遠慮いただきますが、来年度もよろしくお願ひ致します。」と挨拶しました。また、真下委員の「こども六法 練習帳」も学級図書としたことを報告しました。

令和3年度 鴨志田中学校学校運営協議会委員

- 会長 戸塚 昌行（鴨志田町内会長）
- 副会長 佐藤 優子（鴨志田中学校PTA会長）
- 委員 奥田 妙子（中里北部連合町内会長）
- 委員 福島由香子（地域コーディネーター）
- 委員 富川 貴子（主任児童委員）
- 委員 照井 仁（鴨志田地域ケアプラザ所長）
- 委員 真下麻里子（宮本国際法律事務所弁護士）
- 委員 濱崎 利司（鴨志田中学校校長）
- 事務局 高沢 忠弘（鴨志田中学校副校長）
- 事務局 近藤 啓太（鴨志田中学校主幹教諭・教務主任）
- 事務局 福島 義之（鴨志田中学校教諭・通級主任）
- 事務局 米川 久子（鴨志田中学校教諭・3学年主任）
- 事務局 石川祐美子（鴨志田中学校教諭・2学年主任）
- 事務局 高田 悟（鴨志田中学校教諭・1学年主任）
- 事務局 長谷川 満（鴨志田中学校教諭・生徒指導専任）
- 事務局 緒方 悠（鴨志田中学校教諭・ICT担当）

※敬称略

学校運営協議会とは

「法律に定められた権限を与えられた、地域・保護者・有識者などから構成される学校運営改善を目的として協議する組織」です。設置校数は年々数を増し、令和2年10月には横浜市内公立学校509校のうち262校に設置されています。横浜市内では令和4年度末までに全校設置予定です。

本協議会では、今年度も子どもたちのために、よりよい学校づくりへ向け、学校・家庭・地域の連携を進めてまいります。また、この協議会に「いじめ防止対策委員会」を併置し、いじめを中心に子どもたちの抱える課題について話し合い、解決を図っていきます。

学校教育目標

「感動を分かち合おう」
「目標を高く掲げよう」
「真理を追究しよう」

これらの目標の具現化のために方針を立て、手立てを工夫し、その結果を分析して、より高い目標へ向け次の方針を立てて取り組んでいきます。



R4年度3年修学旅行(奈良・京都)は5月24日(火)から26日(木)まで、2年自然教室(長野県戸狩)は6月5日(日)から7(火)までの2泊3日で実施予定です。(写真は令和元年度です。)



第38回体育大会は、6月16日(木)に実施します。雨天順延になりますが、順延が続いた場合のスケジュールの詳細は、後日改めてお知らせします。



個人面談は令和3年度同様に終業式前に、12月は全学年同一期間に、感染症拡大防止に努めながら実施します。

話し合いでは…

1 学校行事について

学校運営協議会では、毎回学校行事について次の協議会開催日まで実施内容のお知らせと今回までの取組の総括をしています。実施日のお知らせと結果報告だけでなく、行事实施後の反省やアンケート結果をもとに次の改善を生かす手立てについて話し合っていくことを重視しています。

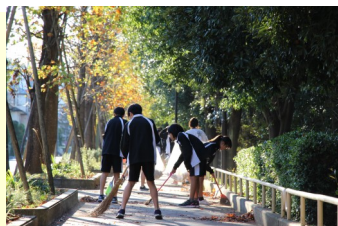
4・5月行事予定と年間行事予定

昨年度より、横浜市の学校管理運営規則が改正され、4月7日が入学式となりました。午前中は着任式・始業式、午後に入學式となります。8日に離任式が行われます。新しく来られる先生方への挨拶とお世話になった先生方へのお別れから一年が始まります。

4月予定は3月25日に配布しますが、主な予定としては、4月は13日新体力測定・身体測定と避難訓練。14日小中連携・PTA合同役員会。18日文化スポーツクラブ。22日小中合同引き渡し訓練。家庭訪問は27日から飛び石で5月上旬にかけての4日間で行われます。

5月は2日に校外学習の保護者説明会と部活動説明会。13日には2年ぶりとなる授業参観と学級懇談会。併せて学習評価説明会が行われる予定です。17日

が令和4年度第一回学校運営協議会。修学旅行は京都・奈良で、24～26日を予定しています。令和4年度の体育大会は、修学旅行や自然教室との兼ね合いから6月16日を予定しています。保護者の皆様には、来年度になってから年間行事予定を配布します。新型コロナウイルス感染状況次第で、変更を余儀なくされることもありますが、「できること・やれること・可能なこと」に気を配って生徒活動を進めていきます。また、5月配布予定の「地域カレンダー」も鴨志田中学校の地域コーディネーター・福島様が、各小学校コーディネーターと協力して作成してください。鴨志田中学校・第一小・緑小・連合町内会の予定が掲載されますのでどうぞ活用ください。

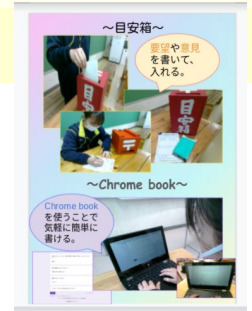


地域清掃は、この2年間は実施できませんでしたが、今年度はできる形を模索しながら実施していきたいと考えています。(写真は令和元年度)

いじめ防止・市民フォーラムの報告



12月に行った「いじめ防止・市民フォーラム」での生徒会の発表を報告しました。いじめを未然に防ぐための日々の取組を発表しました。これは年一回『横浜子ども会議』で、中学校ブロックごとに各校のいじめ防止の取組を共有していましたが、今年度は横浜市北部ブロックの代表として「いじめ防止・市民フォーラム」に参加しました。会場は横浜市役所新庁舎のアトリウムで、各代表校ブースでのパネルディスカッション形式で、10分の発表を6セット行いました。生徒会の生徒たちは、作成した資料をクロームブックを使って発表しました。各校の取組がいじめ防止にどのようにつながっているかを発表し合い、鯉淵教育長の前でも発表し、教育長から質問を受ける場面もありました。また、生徒会長がいじめを未然に防ぐために居心地の良い学校をつくるための活動が大切であることをステージからまとめ挨拶しました。法の観点からのいじめ防止と、本校の「あったかい雰囲気」が「いじめ予防」になることを伝えることができました。



2学年オンライン職場体験報告

本校では、例年、地域の皆様に御協力頂きながら実際に職場体験を行ってききましたが、コロナ禍で職場を直接訪問することができないので、昨年度よりNPO法人アスリードと連携し、オンラインで行っています。職業講話形式で、その職業の内容だけでなくその職業への思いやそこに至るまでの進路選択など様々なお話を頂きました。本物の現場を体験させたいという思いはありますが、コロナ禍でもできる形を模索していきます。状況が改善すれば、また地域の方々に御協力頂きたいです。



3学年 卒業期の様子～卒業式

公立共通選抜後から特別時間割が始まりました。卒業式練習の他、球技大会や卒業遠足、認知症サポーター養成講座や薬物乱用防止教室、救命救急講習なども行いました。しかし修学旅行は中止になり、代替行事としてよみうりランドへ卒業遠足に行きました。園内をグループでまわり久しぶりの校外行事を楽しみました。認知症サポーター養成講座では、戸塚会長や奥田さん、地域ケアプラザの照井所長とケアプラザ職員の方々にも協力頂き、「物忘れ」と「認知症」の違いなどを学び、認知症の方にどのように接してあげればよいかを考えました。若手職員も寸劇で参加し、温かい雰囲気の中行われました。救命救急講習では、青葉消防署・鴨志田出張所の方々を講師としてAEDの使い方や心肺蘇生法の実習などを行いました。最後に学年のお別れ会も行われ、3年間の思いでのスライドショーや有志の出し物で大いに盛り上がりました。養護教諭の高田浜子先生が生徒と一緒にマツケンサンバを踊ったり、伊藤先生が一組の男子とラグビー・ニュージーランド代表でおなじみの「ハカ」を披露したりして学年みんなで楽しみました。卒業式の練習の中で、コロナ禍での歌練習は難しく、最初はハミングだけで練習したり工夫したりしながらの状況で、歌詞をなかなか覚えられない苦労もありました。しかし、式本番はマスク着用のまましっかりと歌い上げることができました。別れの言葉は2人で臨み、お世話になった方々への感謝の言葉と、成長してまた地域に戻ってきますという決意の言葉もありました。「3月9日」の歌が始まったときに涙を流す担任や、退場時に号泣する生徒たちもいて、教職員と生徒たちが温かく結ばれた卒業式でした。

戸塚会長からは、卒業式の後、複数の保護者の方々が『今まで子どもたちを見守ってくださってありがとうございました。』とわざわざ郵便局に挨拶に来てくれました。初めてのことで驚きましたが、地域が見守っているということが、生徒や保護者に届いていることを感じることで嬉しく思いましたと心温まるエピソードも披露されました。



通級指導教室から

通級指導教室には横浜の北部地区から193名の生徒が通う中、3年生は65名が通級してきます。それぞれの在籍校で皆卒業できました。通級日数は月一回や週一回など様々ですが、在籍校での生活がメインであり、そのサポートとして関わってきました。最近の進路選択では、学校の多様化もあり、学習スタイルで選ぶ傾向が見られました。昔はネガティブなイメージがあった定時制や通信制も「学び方が違う」という考え方に変わって増加しており、多様化する学び方の情報を得るのに保護者が悩んでいる場面も見られました。来年度は新たに75名入ってくるので、今年度より生徒数が増えます。彼らにとっては在籍校の生活が軸であり、通級教室として役に立てるというやりがいも増えるのですが、ここに来る生徒が少なくなることが目標という複雑な思いもあります。鴨志田中学校のHPにも鴨志田通級指導教室について載っているので、ぜひ御覧ください。

2 教育活動の成果と課題、次年度へ向けて(学校より)

中期学校経営方針に示した、今年度の「具体的な取組」について、教職員と保護者の個々のアンケートを集約した結果を、各組織で活動を振り返り、全教職員で共有しました。その中で結果が顕著な項目を報告しました。今年度の振り返りをから、次の3年間を見据えて「中期学校経営方針」を策定していきます。学校教育活動の振り返りやまとめは、学校ホームページにも掲載予定です(学校評価報告書令和3年度版)。

教育活動の成果と課題、次年度へ向けて(学運協委員の皆様より)

・鴨志田中学校は難しいことはどのようにやっていくかを相談してくれる。学校と言う軸があると地域づくりにとつては大きい。また、鴨志田中学校のオリジナルな行事(職業体験・地域マイスター講話・模擬面接等)も、時代が変化している中でどうあるべきかを考えて取り組んでいる。地域も時代に合った支援の形を模索し、これからも応援していきたい。

・認知症サポーター養成講座の雰囲気は、とても明るく和やかであった。生徒アンケートでは「相手の気持ちを考えて理解することが大切」「否定せずに優しく受けとめる」「傷つけないように声掛けを考える」など、相手を思いやる気もちがあふれていました。3年間積みあげてきた「いじめ予防授業」の成果が感じられ、子どもたちにしっかり受けとめられていると実感しました。



認知症サポーター養成講座

・地域防災総合訓練は今後どのように連携していくかが課題である。東日本大震災以後、スムーズな引き取りのために、中学生が兄弟のいる小学校へ集まる形で訓練が行われ、仮設トイレをつくったり、炊き出しをやったり内容が広がってきた。しかし、今は4月に小中合同引き取り訓練が行われており、大規模地震発災時には児童生徒が学校留め置きになるため、保護者が小学校に行った後で中学校へ来て引き取りに来る形となっている。各小学校を中心に、それぞれの地区の防災拠点地域総合防災訓練のあり方を見直す時期となっていると思われる。

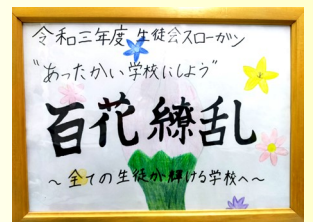


気づきの和

・「気づきの和」を通してコミュニティが広がっている。地域ネットワークの構築が進み、そこで出会った方々と1対1のつながりが生まれ、人と人がつながることの大切さを感じた一年でした。中学校とも、認知症サポーター養成講座などでつながることができた。これからもケアプラザでできるやり方で、子育て支援・高齢者支援・障害児者支援など地域のつながりを広げていく役割を果たしていきたい。

・いじめの問題は眉間にしわよせてもなかなか解決しない。いじめ防止・市民フォーラムで鴨志田中学校のあったかい雰囲気がいじめを予防する取組を発表できたのは良かった。鴨志田中学校のいじめ防止対策では、生徒からのSOSをしっかりととらえているところができている。被害者からSOSを発信することは難しいが、先生を信じてできているところが素晴らしい。生徒が自分に合ったツールでそれを表現できていることは、日頃の活動が浸透している証拠。

・「からかい」と「いじめ」の境目はどこでも難しい問題。どこまでが良くどこまでがいけないという問題ではない。いつもなら響かないことも、落ちこんでいる時には大きく響いてしまうこともある。同じことでも人が違えばとらえ方が変わるし、同じ人に同じことをやっても状況によって変わるもの。しかし、失敗した時に周りがフォローする環境が大切。鴨志田中学校の



おわりに

おわりに、副会長の佐藤さんからまとめの言葉を頂きました。

真下委員の「先生の幸せは、生徒の幸せにつながっている」と言う言葉から「生徒の幸せは、わたしたち家族の幸せにつながっている」ということに気づきました。職員室の雰囲気が良いということは、すなわち、学校の雰囲気が良いということ。PTAや保護者も含め学校全体の雰囲気が良くなるように、これからも支援していきたいです。

誰かの幸せは他の誰かの幸せにつながっていることを改めて考えさせられるとともに、誰かが誰かに見守られている鴨志田の素晴らしい環境をこれからも大切にしていきたいです。

この1年間KAMO NEWSとして学校運営協議会の様子をお知らせしてきました!

昨年度も本校の教育活動に対する御理解と御協力ありがとうございました。本校では、保護者・地域の皆様と手を携え、地域に根差した教育活動を今後も継続し深化させてまいります。学校運営協議会では、学校・家庭・地域の三者がともに子どもたちの健やかな成長のために、考え行動していく環境づくりをますます進めていきたいと考えています。ここに1年間のお礼を申し上げるとともに、改めて今後も変わらない御理解と御協力をよろしくお願いいたします。